

# “鉄より堅く逞しき”

生徒指導通信 第31号  
令和4年1月12日発行  
黒沢尻工業高等学校

## ○新年を迎えて

あけましておめでとうございます。冬休みの生活はどうでしたか？“1年の計は元旦にあり”という言葉がありますが、これは「1年間の計画はその年の初めに決めておくのがよい」という意味です。皆さんは、もう計画を立てましたか？

新しい年が始まりましたが、年度で考えれば今年度もあとわずか。特に、3年生にとって残された授業は2週間、登校日数も20日程になりました。そして、最後の考査も間近に控えています。また、1、2年生にとっても、進級や進路に向けて少しでも成績を上げ、資格取得や部活動で飛躍するためにも重要な時期になります。何事も目標を掲げ、それに向けて目的を持って行動することが大切です。

今年度の集大成として、最後まで駆け抜けましょう！

## ○『自尊互尊』

“自尊”とは、辞書によると「自分の人格を尊重し、品位を保つこと」です。“品位”とは「人に自然と備わっている心の高さ」なので、これを保つことです。また、“自尊心”という言葉がありますが、これは「ありのままの自己を尊重し受け入れる態度」とあります。自尊を簡単に言うと「自分を大切に心の高さを保つこと」になります。

“自分を大切にすること”は、子供たちだけでなく、人を励ます立場にいる我々教員や保護者にとっても同じです。自分が辛い思いを抱えていたり、我慢ばかりしていると、感じている状態によって人の応援をするのは難しくなります。自分のことを大切にできるからこそ、周りの人を励ましたり、応援することができるのではないのでしょうか？

“互尊”という言葉は、明治から大正時代にかけて活躍した商人、慈善家、教育家の野本恭八郎が提唱した互尊思想の「独立した人間がお互いを尊ぶこと」に由来しています。“尊ぶ”とは、リスペクトすることです。「心の高さを保ちつつ、自分を大切にしてお互いを尊ぶ」という短い言葉に込められたこの意味は、現代を生きる私たちにとって必要な考え方なのではないのでしょうか。

## ○シンキングエラー

“いじめ”の原因の1つに“シンキングエラー”があります。いじめ加害者が「あれはいじめじゃなくて、遊びだ」「みんなやっているから」などと、相手の気持ちを考えずに行動してしまうことから“いじめ”が生じてしまいます。自分と容姿や考え方が異なる人をリスペクトできるかどうか、“いじめ”を予防するための大きなポイントです。

シンキングエラーを起こしていないかをチェックしてみましょう。

## ○HERO メソッド

以下の4つの項目を意識してみてください。お互いの存在を尊重し助け合える健全な明るい学校環境を築いていきましょう！



- ・ Help . . . [困ったときは、助けを求める。困った人がいたら、助ける]
- ・ Empathy . . . [相手の気持ちに共感する]
- ・ Respect . . . [相手を自分と同じように大切にする]
- ・ Open-mind . . . [広い心を持って、相手を受け入れる]

## 黒工生の善行

12月27日（月）、黒工生が人助けをした話が2件ありましたので、お知らせします。

朝8時頃、花北病院前の登り坂を走行中の乗用車が路肩の雪にタイヤが嵌（は）まって動けなくなっていた。そこへ通りかかった本校の男子生徒5名程が、対向車の誘導をしながら自動車を押し出した。

→その日の昼過ぎに運転手の女性が来校し、お礼に生徒へ差し入れを頂戴した。

15時40分頃、「パチンコダイナム北上店」の駐車場から出ようとしていた乗用車が深い雪にタイヤを取られて動けなくなっていた。そこへ通りかかった本校の男子生徒4名が車を押し脱出させた。名前を尋ねても頑なに教えなかったが、ラグビー部とバスケットボール部だと話した。

→60歳代の男性運転手から電話があり、是非、生徒たちに感謝を伝えてほしいと言われた。

同日に同じ出来事があったわけですが、どちらも皆で力を合わせて人の役に立ったことは大変素晴らしいことです。いつどこで困っている人に遭遇するか分かりませんが、心の持ち方がきちんとしている人であれば、必ず同じような行動を取ることができるはずです。

仲間の行動に刺激を受け、黒工生一人ひとりが素直な心で正しい行動が取れることを期待しています。“やればできる！”